

安保法案 参院委で可決

与党、採決を強行

与野党攻防 本会議へ

安全保障関連法案は17日夜、参院特別委員会採決が行われ、自民、公明両党などの賛成多数で可決された。民主進党などが強硬を続ける中、与党が採決を強行した。与党は17日夜からの参院本会議で安保関連法案の可決・成立をめざすが、野党は中川雅治・参院議院運営委員長が解任決議案を提出するなど、本会議での与野党攻防が始まった。

安保関連法案は参院に続き、参院特別委員会で採決が行われ、国会周辺や各地では市民による大規模なデモが行われており、反対する世論を押し切った。採決は17日夜の特別委員会で、審議を締めくぐる総括質疑を行わずに法案を採決、与野党議員が委員長席に座る。野党は採決を強行した。自衛隊派遣時に国会の関与を強化する趣旨の付帯決議も可決した。安保関連法案について、与党は18日中の可決・成立をめざす。これに対し、民主進党は「特別委員会の採決は無効」と主張。民主進党は17日夜、法案を採決するための



参院特別委での安全保障関連法案の採決を巡り、もみ合う与野党の議員ら。中央奥は見守る安倍首相＝17日午後4時29分、国会内、岩下敬撮影



安保関連法案に反対し、国会前で声を上げる人々。17日午後8時35分、東京・永田町、井手さゆり撮影

参院本会議の開会を決めた中川氏に対する解任決議案を提出し、本会議で趣旨説明・討論が行われ、与党などの反対多数で否決された。民主進党は中谷元・防衛相の問責決議案も出した。民主、維新、共産、社民、生活の5党の国対委員長は17日夜、衆院で内閣不信任決議案を提出することを確認。参院では安倍晋三首相らの問責決議案の提出を含め、あらゆる手段で法案成立を阻止する構えだ。法案採決をめぐる攻防は16日夕から徹夜で続き、17

日午前4時前まで与野党のれ、審議を打ち切らざるをえなかった。午前9時すぎに特別委が開かれ、野党が不信任決議案を提出。勸告の反対多数で否決された。

抗議の声 国会で全国で

雨の中、17日の国会周辺は前日に続いて多くの人たちが集まり、安保法案をめぐる参院特別委員会の採決強行に抗議の声を上げた。採決の結果が伝わった午後4時半すぎ、群衆からは「徹底強硬」というコールが起きた。主催者の発表によると、参加者は約3万人にのぼり、集会が始まった夜には車道が開放された。うねりは全国に広がっていった。札幌市の大通公園では同夜、抗議集会に1800人(主催者発表)が参加。名古屋市や大阪市、京都市、九州・沖縄などで抗議の集会や行進があった。

9/18 朝刊